

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		日常生活の指導	① 道徳「きみのところをつよくするほん」（主婦の友社）		
目標	(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。 (思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	169
1 学期授業時数					169
2学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	195
2 学期授業時数					195

3 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「学校生活全般」 ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 「給食」 ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き 「トイレの使い方」 ・衛生、健康、エチケット など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など	①	(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。 時計や暦の使い方を理解する。 食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。 見聞きたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。 自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	91
3 学期授業時数					91
総授業時数					455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		生活単元学習	①社会「カラプラス広島、宮島」（昭文社） ②地図「ドラえもんちずかん1 にっぽんちず」（小学館） ③理科「小学館の図鑑NEO 科学の実験」（小学館） ④職業・家庭「調べ学習パーフェクトガイド」（新日本出版）		
目標	（知）様々な体験や活動を通して、社会生活や集団生活に必要な知識や技能を身に付ける。 （思）身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解を深めるとともに、自分の考えを表現したり、選択したりする力を付ける。 （学）人や物と関わりながら、最後まで意欲的に学ぼうとする態度を身に付ける。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「2年生を頑張ろう」 ・自己紹介、個人、学級目標の設定 ・1学期の行事等について		（知）学級のルールや学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 自分のことを学級の友達に紹介したり、友達のことを知ろうとしたりすることができる。 （思）行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 （学）友達や教師に自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとするすることができる。	学級	3
	「新入生歓迎会」 ・準備、新入生歓迎会		（知）新しく入学する友達について知ることができる。 （思）新入生に喜んでもらうための工夫を考えたり、どのようなことが必要か考えたりすることができる。 （学）新入生の入学を祝う気持ちをもつことができる。	学部 学級	2
	「不思議を見付けよう2」 ・風や磁石の性質について（実態によって選択） ・簡単な実験など	③	（知）風のかで物を動かすことができることを知る。 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを知る。 （思）風のかの強弱で物が動く様子が変わることに関心したり、疑問に思ったりすることができる。 同じ極と違う極があることに気付いたり、疑問に思ったりすることができる。 （学）友達と協力して活動し、学んだことを日常で生かそうとすることができる。	学級	7
	「チャレンジタイム3」 ・学級の実態に応じた指導 ・調理、買物、季節の学習、おもてなし ・公共交通機関の学習など		学級の実態に応じた指導目標	学級	9
	「外国について知ろう2」 ・外国の衣服や遊び、歌について ・日本との違い	②	（知）外国の文化について知り、日本との違いを知ることができる。 （思）衣服や遊び、歌などについて日本のものと比較したり、体験したりすることで日本と外国の違いに関心したり、違いを感じたりすることができる。 （学）学習したことを日常で生かそうとすることができる。	学級	6
	「育てて食べよう3」 ・じゃがいもの収穫 ・じゃがいもを使った調理 ・焼いたり、炒めたりする調理 ・田植え		（知）調理の手順を考えたり、準備から片付けまでの工程の見通しをもつことができる。 焼いたり、炒めたりするときに使う道具の使い方を理解することができる。 （思）安全に調理しようとして心掛けたり、様々な調理の仕方を自分なりに工夫したりすることができる。 （学）調理の工程や料理の出来上がり、味、食べ方について関心を持ち、自分で調理しようという意欲をもつことができる。	学級	10
	「1学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除、1学期の振り返り		（知）感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 （思）できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 （学）振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2
Ⅰ学期授業時数					39

2 学 期	「2学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・2学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達や教師に自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとするすることができる。	学級	2
	「宿泊学習を頑張ろう」 ・役割決め、しおり学習 ・当日に向けた取組 ・事後学習など	①④	(知) 宿泊活動を通して、自然や文化に親しむとともに、公共交通機関や公共施設の利用の仕方やマナーについて知ることができる。 (思) 宿泊活動の行程やルール、マナーについて学び、日常とは異なる生活環境の中で、学校生活や学習活動の成果を活用するように考えることができる。 (学) 広島 naturally 文化、社会について関心を持ち、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとするすることができる。	学年 グループ 学級	14
	「運動会を頑張ろう2」 ・事前学習、招待状作り、ポスター作り ・事後学習		(知) 運動会の競技内容や日付、練習日程等が分かり、見本を参考に招待状を作ることができる。 運動会で友達と協力して頑張ったことが分かる。 (思) 頑張りたいこと等を表現したり、招待状作りで工夫して作成しようとするすることができる。 運動会で頑張ったことや感じたことを表現することができる。 (学) 運動会に向けて意欲的になったり、楽しみにしたりすることができる。 達成感を感じ、次の行事を頑張ろうとすることができる。	学級	6
	「育てて食べよう4」 ・畑作り、大根の種まき ・観察記録		(知) 野菜の育つ時期やシャベルなどの道具の扱い方、道具を使って耕す方法、収穫の仕方などを知り、道具等を操作することができる。 (思) 必要な道具を選択しながら活動することができる。 植物の成長について知り、植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気付き、成長の様子を表現することができる。 (学) 畑での野菜の栽培を通して、自然や植物を大切にしようとするすることができる。	学級	2
	「中学部まつりを頑張ろう2」 ・事前学習、店出しなど		(知) 中学部まつりの流れに見通しをもつことができる。 (思) きまりを守ることの大切さを考えたり、場面にあった行動や表現をしようと考えたりすることができる。 (学) 文化祭を楽しみ、学校生活の意欲を高めることができる。	学年 グループ 学級	10
	「チャレンジタイム4」 ・学級の実態に応じた指導 ・調理、買物、季節の学習、おもてなし ・公共交通機関の学習など		学級の実態に応じた指導目標	学級	9
	「2学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除、2学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 (思) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2
2 学期授業時数					45
3 学 期	「3学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・3学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達や教師に自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとするすることができる。	学級	2
	「育てて食べよう5」【食育】 ・大根の収穫 ・大根を使った調理 ・煮る調理 ・稲刈り		(知) 調理の手順を考えたり、準備から片付けまでの工程の見通しをもったりすることができる。 煮るときに使う道具の使い方を理解することができる。 (思) 安全に調理しようとし心掛けたり、様々な調理の仕方を自分なりに工夫しようとしたりすることができる。 (学) 調理の工程や料理の出来上がり味、食べ方について関心を持ち、自分で調理しようという意欲をもつことができる。	学級	8
	「卒業生を祝おう2」 ・卒業生を送る会準備、卒業生を送る会 ・卒業証書授与式予行練習		(知) 卒業する友達を知ることができる。 自分が卒業することを知ることができる。 (思) 卒業生に向けて、何ができるかを考えたり、伝えたりすることができる。 (学) 卒業生を祝う気持ちをもち、伝えることができる。	学部 学級	5
	「2年生を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 (思) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	6
3 学期授業時数					21
総授業時数					105

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		作業学習 (クラフト)			
目標	(知) クラフト製品の製作を通して、働くために必要な習慣(挨拶・報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、実践することができる。 (思) クラフト製品の製作を通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。 (学) クラフト製品の製作を通して、働くことへの関心を高め、責任を持って自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「牛乳パックで紙を作ろう」 【2・3学期も継続して行う。】 ・牛乳パックを切る。 ・ラミネートを剥がす。 ・シュレッダーで攪拌する。 ・紙の重さや水のかさを測る。 ・ミキサーに掛ける。 ・紙すきをする。 ・水気を取る。 ・アイロンを掛ける。 ・完成した個数等の報告をする。		(知) 紙を作るための工程や各工程で使用する道具の使い方を 知ることができる。 手や支援具を使って紙をちぎったり、はさみで切ったりする ことができる。 (思) 自分の作業量を決めたり、やりやすい方法を考えたり することができる。 (学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動し ようとするすることができる。	グループ 学級	26
1 学期授業時数					26
2 学期	「共同で作品を作ろう」 【3学期も継続して行う。】 ・はさみやカッターで規格の大きさに切る。 ・型抜きパンチをする。 ・定規で線を引く。 ・色を付ける。 ・マス目に合わせて貼る。		(知) 教師の支援を受けながら正しく道具を使ったり、紙や水 の量などを正確に計測したりすることができる。 物があることが分かり、自分から関わろうとすることができ る。 (思) 自分の得意な活動を見付け、友達と協力しながら物を作 ることができる。 (学) 友達と協力しながら物を作ることで、達成感を味わうこ とができる。	グループ 学級	30
	「個人作品を作ろう」 【3学期も継続して行う。】 (木工や染めなども含む) ・写真立てや容器などを作成する。 ・はさみやカッターで規格の大 きさに切る。 ・型抜きパンチをする。 ・のりで貼る。 ・文字を書く。 ・作品を鑑賞する。 ・頑張り発表をする。		(知) 正しく道具を使うことができる。 紙や水の量などを正確に計測することができる。 (思) 素材や色等を考えながら作品を作ることができる。 (学) 物を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動し ようとするすることができる。	グループ 学級	
	「中学部マーケットに向けて製品をつくら う」 ・チャーム、はがきの作成		(知) 1年生に向けて販売することを知り、製品を作ることが できる。 (思) 販売するために目的をもったり、丁寧に作ろうと意識し たりすることができる。 (学) 販売に向けて意欲を高めることができる。	グループ 学級	
2 学期授業時数					30
3 学期	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		(知) 販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知り実践し たりすることができる。 (思) 販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫すること ができる。 (学) 販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 グループ 学級	3
	「牛乳パックで紙を作ろう」 「共同で作品を作ろう」 「個人作品を作ろう」 【1・2学期からの継続】		1・2学期と同様とする。	グループ 学級	11
3 学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		作業学習 (園芸)			
目標	(知) 栽培活動を通して、働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、慣れることができる。 (思) 栽培活動を通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。 (学) 栽培活動を通して、働くことへの関心を高め、自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「畑・プランターの管理をしよう」 ・水やり ・間引き		(知) 水やりや草取りの方法を知り、道具を使って畑の管理をすることができる。 (思) 水やりをするタイミングを判断したり、雑草やわき芽、間引き菜を見分けたりすることができる。 (学) 収穫することに喜びを感じ、他の野菜の栽培や収穫へ意欲を高めることができる。	グループ 学級	
	「牡蠣殻で肥料を作ろう(雨天時)」		(知) 肥料作り方法を知り、道具を安全に使って肥料を作ることができる。 (思) たたく強さや回数を調整して、適度な大きさの肥料を作ることができる。 (学) 友達や教師と協力して、肥料作りをすることができる。	グループ 学級	
Ⅰ 学 期	「夏野菜を育てよう」 ・畑作り(腐葉土、堆肥、石灰の使用方 法) ・農具の扱い方 ・苗植え ・水やり ・はさみを使用した収穫		【畑作り】 (知) 畑作りがなぜ必要かを理解したり、使用する道具等の名前や安全な使い方を覚えたり、肥料の意味を理解したりすることができる。 (思) 場面のよって使う道具を選択したり、道具の使い方を工夫しようとしたりすることができる。 (学) 友達や教師と一緒に協力して、畑作りをすることができる。	グループ 学級	10
	「えんどう豆・そら豆・玉ねぎ・じゃがい もを収穫しよう」 ・収穫の仕方		【収穫】 (知) 手やはさみ等を使用して、丁寧に野菜の収穫をすることができる。 野菜の種類によって収穫物ができる場所が違うことを理解することができる。 道具を安全に扱うことができる。 (思) 実と葉を見分け、野菜によって収穫の仕方が違うことを理解し、野菜に合った収穫方法で収穫しようとする。 収穫できるもの、まだ熟していないものなどの判断ができる。 (学) 収穫することに喜びを感じ、次の野菜の栽培へ意欲を高めることができる。	グループ 学級	8
	「さつまいもを育てよう」 ・苗植え ・水やり		【苗植え】 (知) 苗によって植え方の留意点や茎の向き、植える場所、手順などを理解して植えることができる。 道具を安全に扱うことができる。 (思) 苗の茎等を折らないよう気を付けたり、道具等を使って丁寧に植えようとしたりする。 (学) 野菜の栽培を通して、植物の成長に気付いたり、思いやりをもって育てようとしることができる。	グループ 学級	8
Ⅰ学期授業時数					26

2 学 期	「大根・人参を育てよう」 ・畑作り（腐葉土、堆肥、石灰の使用方 法） ・種まき ・水やり ・収穫		【種まき】 （知）種によって植え方の留意点や種の向き、植える場所、手 順などを理解して植えることができる。 道具を安全に扱うことができる。 （思）種の植え方の違いを理解し、留意点に気を付けようとす ることができる。 （学）野菜の栽培を通して、植物の成長に気付いたり、思いや りをもって育てようとしたりすることができる。	グループ 学級	8
	「ブロッコリー・水菜・えんどう豆・そら 豆・玉ねぎを育てよう」 ・畑作り（腐葉土、堆肥、石灰の使用方 法） ・苗植え ・水やり ・はさみを使用した収穫			グループ 学級	14
	「さつまいもを収穫しよう」 ・シャベルを使用した収穫			グループ 学級	8
2 学期授業時数					30
3 学 期	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		（知）販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知り実践し たりすることができる。 （思）販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫すること ができる。 （学）販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 グループ 学級	4
	「じゃがいもを育てよう」 ・種芋植え ・水やり			グループ 学級	10
3 学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		作業学習 (手工)			
目標	(知) 手芸や工芸の製作を通して、働くために必要な習慣（挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け）を身に付けることができる。 (思) 手芸や工芸の製作を通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。 (学) 手芸や工芸の製作を通して、働くことへの関心を高め、責任を持って自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「個人作業」 ・刺し子 ・ビーズ通し ・ステンシル ・リングはめ ・アイロンビーズ		(知) 基本的な道具の使い方を理解し、安全に扱ったり、正確さなどの技能を高めることができる。 (思) 作品などのデザインを考えたり、使用する道具や材料を選んだりして、完成品のイメージをもつことができる。 (学) 得意な活動を見付けたり、やりがいを感じたりするなど、創作意欲を高めることができる。 決められた時間集中して作業をすることができる。	グループ 学級	
I 学 期	「基礎練習をしよう」 ○基礎練習や小物作り（コースター、ポケットティッシュカバー・ランチョンマット）など ・ミシン掛け ・アイロン掛け ・布の裁断 ・印付け ・ボタン付け ・縫製		(知) 基本的な道具の使い方を知り、安全に操作しようとする ことができる。ミシンやアイロンの操作手順や留意点をを理解し、道具を安全に扱うことができる。 (思) 友達や教師に報告したり、周りの様子を見て行動したり することができる。製作物のイメージを描きながら印付けや裁断、ミシン、アイロンなどの作業を進めることができる。 (学) ポケットティッシュカバーなどの身近なものが自分たち で作ることができることが分かる。	グループ 学級	23
I 学期授業時数					23
2 学 期	「パソコンカバーを作ろう（共同製作）」 ○分業によるパソコンカバーの制作 ・仕事分担 ・作業の流れ確認 ・布の裁断・印付け ・縫製 ・アイロン仕上げ		(知) 自分が担当するグループの作業内容を理解し、安全に用具を扱いながら作業を進めることができる。 (思) 友達や教師に報告したり、周りの様子を見て行動したり することができる。製作物のイメージを描きながら印付けや裁断、ミシン、アイロンなどの作業を進めることができる。 (学) 協力して一つの製品を作ることを理解し、友達と協力し ようと意識することができる。	グループ 学級	19
	「個人作品を作ろう」 ウォールポケット トートバッグ （上記を隔年で扱う。R6年はトートバッグ） ・印付け ・布の裁断 ・縫製 ・飾り付け		(知) 描いたデザインを、刺し子の技法やミシン、アイロンを使って製作することができる。 (思) 製作物のデザインをイメージし、描いたり、教師に伝えたり することができる。 (学) 物を作る喜びを味わうことができる。	グループ 学級	8
2 学期授業時数					27
3 学 期	「パソコンカバーを作ろう（共同製作）」 （2学期同様）		2 学期同様	グループ 学級	5
	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		(知) 販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知り実践 したりすることができる。 (思) 販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫するこ とができる。 (学) 販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 グループ 学級	4
	「個人作品を作ろう」 ・縫製 ・飾り付け ・仕上げ ・作品発表会		2 学期同様	グループ 学級	5
3 学期授業時数					13
総授業時数					63

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		作業学習 (陶芸)			
目標	(知) ものづくりを通して、働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、慣れることができる。 (思) ものづくりを通して、働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。 (学) ものづくりを通して、働くことへの関心を高め、自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「小皿を作ろう(個人製作)」 ・小皿作りの全工程(伸ばし、型取り、成形)を経験し、小皿作りへの見通しをもつ。 ・個人で、小皿の成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・小皿のこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包)を行う。		(知) 粘土の扱い方や小皿の作り方を知ったり、道具を安全に扱うことができる。 粘土を伸ばす、切り取るなどの技能を高めることができる。 (思) 道具の使い方を工夫しようとする可以尝试。 (学) 小皿を作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとする可以尝试。 使う相手をイメージして制作することができる。	グループ 学級	12
	「中皿、箸置きを作ろう(個人製作)」 ・中皿作りの全工程(伸ばし、型取り、成形)を経験し、中皿作りへの見通しをもつ。 ・個人で、中皿の成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、中皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・中皿のこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等		(知) 粘土の扱い方や中皿や箸置きの作り方を知ったり、道具を安全に扱ったりすることができる。 (思) 道具の使い方を工夫しようとする可以尝试。 (学) 中皿や箸置きを作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとする可以尝试。 使う相手をイメージして制作することができる。	グループ 学級	14
Ⅰ 学期授業時数					26
2 学 期	「協力して小皿、中皿、箸置きを作ろう(分業)」 ・小皿、中皿作りについて、作業工程ごとにグループで分かれ、分業作業を行う。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・小皿、中皿のこん包(新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包)を行う。 ・箸置きの製作をする。 ・中学部マーケットに向けた製品作りを行う。		(知) 自分の担当する作業に時間いっぱい集中することができる。 (思) 教師や友達に報告することができる。 (学) 友達と協力して作ることを理解し、関わったり、達成感を感じたりすることができる。	グループ 学級	20
	「共同製作をしよう」 ・文化祭に向けた取組をする。		(知) 文化祭に共同製作を展示することを知ることができる。 (思) 共同製作について知り、自分の役割を果たそうとすることができる。 (学) 関わったり、達成感を感じたりすることができる。 言葉を添えて相手に仕事を受け渡すことができる。	グループ 学級	8
	「コップを作ろう(個人製作)」 ・コップ作りの全工程(伸ばし、型取り、成形)を経験し、コップ作りへの見通しをもつ。		(知) 粘土の扱い方やコップの作り方を知ったり、道具を安全に扱ったりすることができる。 (思) 道具の使い方を工夫しようとする可以尝试。 次の工程へ移ることができる状態を判断することができる。 (学) コップを作ることに達成感や喜びを感じ、自ら進んで活動しようとする可以尝试。 使う相手をイメージして制作することができる。	グループ 学級	2
2 学期授業時数					30

3 学 期	「コップを作ろう（個人製作、分業）」 ・個人でコップの成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・コップのこん包（新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包）を行う。 ・分業でコップの成形に取り組む。 ・はけ、撥水剤、釉薬を使用して、小皿に撥水剤を塗り、釉薬掛けを行う。 ・コップのこん包（新聞紙や気泡緩衝材、テープ等でのこん包）を行う。		（知）自分の担当する作業に時間いっぱい集中することができる。 （思）次の工程へ移ることができる状態を判断することができる。教師や友達に報告することができる。 （学）友達と協力して作ることを理解し、関わったり、達成感を感じたりすることができる。	グループ 学級	10
	「中学部マーケット」 ・販売に向けた準備等 ・販売		（知）販売に向けた準備を行ったり、販売の仕方を知り実践したりすることができる。 （思）販売に向けた準備や人との関わりの仕方を工夫することができる。 （学）販売を通して、学習意欲を高めることができる。	学部 グループ 学級	4
3 学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		国語科 (A)	①ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2（改訂版）（同成社）		
目標	（知）日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 （思）言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「やり取りの学習をしよう2」 ・呼名に対して、返事や挙手をする。 ・言葉、カード、タブレット型端末などを使用して、日常生活でよく使用する言葉の学習をする。	①	（知）身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 （思）身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	個別	
1 学 期	「いろいろな言葉を知ろう2」 ・発声練習をする。 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・日常生活で使用する言葉（挨拶、動詞・名詞等）の学習を行う。	①	（知）身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 遊びややり取りを通して、言葉による表現を親しむことができる。 （思）簡単な指示を聞き、その指示に応じた行動をすることができる。 挨拶をしたり、簡単なせりふなどを表現することができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	学級 個別	19.5
1 学期授業時数					19.5
2 学 期	「語句や文を読もう2」【読書指導】 ・発声練習をする。 ・絵本や写真、映像に示された身近な事物や生き物等に注目する。 ・物語に出てくる人物や物の名称を理解する。 ・物語の一場面や登場人物の動きを模倣する。	①	（知）昔話や童謡の歌詞などに読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑に興味をもつことができる。 （思）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	学級 個別	22.5
2 学期授業時数					22.5
3 学 期	「平仮名や片仮名の学習をしよう1」【読書指導】 ・絵本等を通して、平仮名文字に親しむ。 ・様々な筆記具の使用に慣れる。 ・線引きや線つなぎ、なぞり書きをする。 ・平仮名文字のマッチングをする。	①	（知）いろいろな筆記具を用いて書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 （思）経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 自分の名前や物の名前を文字であらわすことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 （学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		国語科 (B)	①スキンシップ絵本 かたかなアイウエオ (ひさかたチャイルド)		
目標	(知) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。 (思) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「やり取りの学習をしよう2」 ・呼名や話し掛けに対して返事や拳手をしたり、発語、発声、身振りなどで応答する。 ・簡単な言葉で挨拶をしたり、自分の思いを伝える。 ・言葉、カード、タブレット型端末などを使用して、日常生活でよく使用する言葉の学習をする。		(知) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思) 相手に伝わるよう、発声や声の大きさに気を付けることができる。 (学) 図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	個別	
I 学 期	「いろいろな言葉を知ろう2」 ・発声練習をする。 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・日常生活で使用する言葉(挨拶、動詞・名詞等)の学習を行う。	①	(知) 日常生活でよく使う促音、長音、などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	学級 個別	19.5
I 学期授業時数					19.5
2 学 期	「語句や文を読もう2」【読書指導】 ・発声練習をする。 ・絵本や写真、映像に示された身近な事物や生き物等に注目する。 ・物語に出てくる人物や物の名称を理解する。 ・物語の一場面や登場人物の動きを模倣する。	①	(知) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子を想像することができる。 登場人物になったつもりで、音読したり、演じたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を養う。	学級 個別	22.5
2 学期授業時数					22.5
3 学 期	「平仮名や片仮名の学習をしよう2」【読書指導】 ・絵本等を通して、平仮名字に親しむ。 ・様々な筆記具の使用に慣れる。 ・線引きや線つなぎ、なぞり書きをする。 ・平仮名字のマッチングをする。 ・漢字の学習をする。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を養う。	学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		数学科 (A)	①あかね書房の学習えほんおかあさんだいすき 1・2・3 (あかね書房)		
目標	(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き、理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「数と計算の学習をしよう3」 (数と計算) ・同じ・多い・少ないについての学習 ・1対1対応、1対多対応 ・ものの数と数詞を対応させること ・ものの数や数詞と数字を対応させること ・ものを数えたり、書き表したりすること ・数の大きい小さいが分かること ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	(知) 5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることにについての技能を身に付ける。 (思) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 個別	10
	「図形の学習をしよう2」 (図形) ・色や形、大きさに着目して分類すること ・ものを目的、用途及び機能に着目して分類すること ・丸、三角、四角という名称を知ること ・縦や横の線、十字、△や□を書くこと ・形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること		(知) 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付ける。 (思) 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして形の性質に気付く力を身に付ける。 (学) 図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 個別	9.5
1 学期授業時数					19.5
2 学 期	「数と計算の学習をしよう4」 (数と計算) ・同じ・多い・少ないについての学習 ・1対1対応、1対多対応 ・ものの数と数詞を対応させること ・ものの数や数詞と数字を対応させること ・ものを数えたり、書き表したりすること ・数の大きい小さいが分かること ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	(知) 5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることにについての技能を身に付ける。 (思) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
	「測定の学習をしよう2」 (測定) ・長さ、重さ、高さ、広さなどの量の大きさの理解 ・二つの大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること ・生活経験や経験を通して、長い・短い、重い・軽い、高い・低い、広い・狭いの用語の理解		(知) 身の回りにおける具体物の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付ける。 (思) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を身に付ける。 (学) 数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 個別	12
2 学期授業時数					22.5

3 学 期	「データを活用しよう2」 (データの活用) ・身近なものを目的、用途、機能に着目して分類 ・身近なものの色や形、大きさ、目的、用途に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること ・ものともとを対応させることによって、ものの同等や多少が分かること(例：コップと歯ブラシなど「組になるもの」) ・身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表に慣れること(例：的当てなど)		(知)身の回りのものや身近な出来事につながりに関心をもち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付ける。 (思)身の回りのものや身近な出来事につながりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を身に付ける。 (学)数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		数学科 (B)	①さんすう☆☆☆ (教育出版)		
目標	(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き、理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「数と計算の学習をしよう3」 (数と計算) ・100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすること ・数を2ずつや5ずつのまとまりで数えること ・数を10のまとまりで数えること、10のまとまりと端数に分けて数えたり書いたりすること ・具体物を分配したり等分したりすること	①	(知) 100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら、学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10
	「図形の学習をしよう2」 (図形) ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと ・傾斜をつくると角ができることの理解 ・扇形の教材で学習 ・ミニカーを傾斜を変えて走らせること	①	(知) 身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を身に付ける。 (学) 図形や数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	9.5
Ⅰ学期授業時数					19.5

2 学 期	「数と計算の学習をしよう4」 (数と計算) ・10の補数が分かること ・加法の合併や増加についての理解 ・加法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・1位数と1位数の加法の計算 ・1位数と2位数の和が20までの加法の計算 ・減法の求残や減少についての理解 ・減法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・20までの数の範囲で減法の計算	①	(知) 100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
	「測定の学習をしよう2」 (測定) ・比べ方の学習(直接比較、間接比較) ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること ・Ocmずつ切る学習 ・アナログ時計、時刻の読み方 ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係の理解 ・朝、昼、晩、昨日、今日、明日の区別 ・タイマーの理解 ・カレンダーの学習(日付や曜日などの理解)	①	(知) 身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	12
2 学期授業時数					22.5
3 学 期	「データを活用しよう2」 (データの活用) ・ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすること ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること ・天気調べ、ボウリング遊び等 ・事柄の多少を棒グラフに表すこと	①	(知) 身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
3 学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部第2学年 重複B類型		音楽科	①おんがく☆☆☆(東京書籍)		
目標	(知) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。 (学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「音楽始まりの歌、音楽終わりの歌」 ・「音楽始まりの歌」「音楽終わりの歌」を通しての挨拶 「朝の会の歌、帰りの会の歌」 ・呼び掛けとこたえを取り入れた発声の練習 「季節の歌」 「学校行事に向けての歌」 「エコーソング」 「音楽に合わせた身体表現」 「ボディーパーカッション」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・学年の歌や季節の歌などの歌唱や身体表現 ・自分の体の部位を動かしたり、タッチをしたりするなど、歌詞や音楽の変化を意識した身体表現 ・様々な歌を通した友達との関わり合い	①	(知) 曲名や曲想の雰囲気と音楽の構造などとの関わりに気付き、音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができる。 (学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。 【共通教材】 生徒の生活年齢及び発達の段階に応じた、日常の生活に関連した曲 「こいのぼり」(文部省唱歌) 「われは海の子(歌詞は第3節まで)」(文部省唱歌) 「とんび」 「もみじ」(文部省唱歌) 「スキーの歌」(文部省唱歌) 「春の小川」(文部省唱歌) ※ 1曲以上適切に取り扱うようにする。	グループ 学級	
1学期	「音楽を作って演奏しよう」 (表現「音楽づくり」) ・音遊び、わらべ歌遊び、反復や呼び掛けなどの掛け合い ・声や身の回りの様々な音の聴き取りやその特徴や雰囲気の違いの理解 ・リズム・パターン、短い旋律を取り入れた音楽づくり ・設定した条件に基づいて、音を選択し、音を音楽へと構成して表現	①	(知) いろいろな音の響きや、リズム・パターンや短い旋律のつなげ方が生み出す面白さに気付き、発想を生かし、思いや意図に合った音楽をつくることができる。 (思) 音楽づくりの活動を通して、どのように音楽を作るのかについて発想を得るとともに、音を音楽へと構成することについて意図をもつことができる。 (学) 音楽を作る中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	11
	「たのしくコンサート4」 (鑑賞) ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見付けて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
1学期授業時数					13

2 学 期	「リズムに親しもう2」 (表現「音楽づくり」) ・リズムや旋律、曲の雰囲気などを意識した歌唱 ・拍打ちやリズム打ちの練習 ・リズムや速度、音色を意識した演奏	①	(知) いろいろな音の響きや、リズム・パターンや短い旋律のつなげ方が生み出す面白さに気づき、発想を生かし、思いや意図に合った表現をすることができる。 (思) リズムの学習活動を通して、どのように音楽を作るのかについて発想を得るとともに、音を音楽へと構成することに思いや意図をもつことができる。 (学) リズムの学習活動で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	4
	「みんなで演奏しよう2」 (表現「器楽」) ・楽器・パートに分かれての演奏の練習 ・伴奏や友達に合わせることを意識した演奏 ・伴奏に合わせた打楽器や旋律楽器での合奏	①	(知) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と全体の響きとの関わりに気づき、リズムや速度を意識して、音を合わせて演奏することができる。 (思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学) 友達と演奏する中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	8
	「たのしっくコンサート5」 (鑑賞) ・たのしっくコンサートに向けての練習 ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・他学年の生徒や教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見付けて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	3
2 学期授業時数					15
3 学 期	「思いを込めて表現しよう」 (表現「歌唱」「器楽」「身体表現」) ・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習 ・卒業生を送る会に向けての合奏練習	①	(知) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、曲想の表す情景やイメージとの関わりに気づき、友達と合わせて表現することができる。 (思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、音楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学) 友達と表現する中で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	4
	「卒業証書授与式の歌を練習しよう2」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習	①	(知) 曲の雰囲気と歌詞で表されている情景やイメージとの関係に気づき、友達と合わせることを意識し、思いや意図にふさわしい動きで表現することができる。 (思) リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、歌唱や身体表現について思いや意図をもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	1
	「たのしっくコンサート6」 (鑑賞) ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取ったり、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見付けて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		美術科	①美術「はじめてのこうさくあそび」（のら書店）		
目標	（知）造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。 （思）造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 （学）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「Tシャツのデザインをしよう2（染め）」 ・加工の方法の理解 ・模様のデザインの検討、加工 ・染料を用いての染め ・作品の鑑賞		（知）染めの全工程を理解したり、染めでTシャツを染めたりすることができる。 （思）染めの技法を使い、自分で決めたデザインを表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 （学）Tシャツ作りを通して、染めの技法を使って創造する楽しさ、達成感をもつことができる。	学級	8
	「コラージュで表現しよう」 ・テーマ、デザインの検討 ・はさみやのりの使用方法の習得 ・写真の撮影方法、画角 ・作品の鑑賞	①	（知）はさみで線の上を切ったり、のりではがれることがないよう貼ったりすることができる。 （思）写真の色あいや大きさ等を考えて配置することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 （学）カード作りを通して、創造する楽しさ、達成感をもつことができる。	学級	5
1 学期授業時数					13
2 学期	「思い出を表現しよう2」 ・写真や映像での振り返り、描画する場面の選択 ・色鉛筆やクレヨン、絵の具などの道具を用いての描画活動 ・モダンテクニック ・作品の鑑賞	①	（知）テーマに沿った写真を見て、様々な技法を使いながら絵を描くことができる。 （思）自分の描きたい場面の写真を選択し、様々な技法の使用場面を考えながら表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、活動場面を振り返りながら、作品の良さや面白さ、技法の使用に気付くことができる。 （学）様々な技法の使用を通して、より良い作品を目指そうとする態度を身に付ける。	学級	7
	「版画をしよう」 ・スチレン版画の技法の理解 ・スチレンボードの凹凸を生かした版作り（型を押す、引っかくなど） ・版画の印刷（回転版画を含む） ・作品の鑑賞		（知）ペンやフォークなど様々な道具を使ってできる模様が分かり、目的をもって模様を付けて版画の原版を作ることができる。 （思）版画の完成イメージを作り、付けたい模様を考えたり、道具を選択することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 （学）版画を通して、創造する楽しさ、達成感をもったり、できた模様の偶然性に気付いたりすることができる。	学級	8
2 学期授業時数					15
3 学期	「モダンテクニックを知ろう」 ・モダンテクニックの体験 ・デカルコマニー ・スパッタリング ・ドリップング ・マーブリング ・フロッタージュ ・吹き流し ・スクラッチ など	①	（知）モダンテクニックを知り、手順等を理解して表現することができる。 （思）それぞれの技法でどんな模様や形ができるかをイメージしながら、表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 （学）モダンテクニックを通して、創造する楽しさ、達成感をもつことができる。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		保健体育科（わくわくグループ）	①改定新版 体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう（ひかりのくに）		
目標	（知）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 （思）基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。 （学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「自分の体を知ろう」 「病気を予防しよう」 （保健） ○自分の体についての理解・身体の変化など ○健康な生活についての理解 ・体調の悪いときやけがをしたときに、教師に知らせる。		（知）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 （思）健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 （学）健康に必要な事柄をしようとする態度を身に付ける。		
Ⅰ学期	「サーキット運動（体づくり運動）2」（体づくり運動） ○ストレッチ ・マット ・鉄棒 ・バランスボール ○歩く・走る ・直線上・曲線上を様々な方向に歩く・走る ○跳ぶ（ジャンプ） ・ミニハードルをまたぐ・跳び越す ○蹴る（シュート、的当て）、ボール運動		（知）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。 （思）基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 （学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとすることができる。	グループ 学級 個別	11
	「水泳2」（水の中での運動） ○水中遊び ・水の中での歩行（前後、左右） ・ジャンプ ・補助具などを使用しての浮き ・バタ足など		（知）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 （思）水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 （学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとすることができる。	グループ 学級 個別	2
Ⅰ 学期授業時数					13

2 学 期	「運動会練習2」 (体づくり運動・表現運動) (種目については、サーキット、パルーン、箱積みの競技を3年間でローテーションする。) ・種目練習 (パルーン、リレー)		(知) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく基本的な体づくり運動や表現運動をすることができる。 (思) 基本的な体づくり運動や表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動や表現運動をしようすることができる。	グループ 学級 個別	10
	「水泳2」 (水の中での運動) ○水中遊び ・水中での歩行 (前後、左右) ・ジャンプ ・補助具などを使用しての浮き ・バタ足など		(知) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようすることができる。	グループ 学級 個別	2
	「サーキット運動 (走・跳の運動) 2」 (走・跳の運動) ○ストレッチ ・マット ・鉄棒 ・バランスボール ○歩く・走る・くぐる ・ミニハードル ・バトンパス ・蛇腹トンネル ○跳ぶ (ジャンプ) ・ミニハードルをまたぐ・跳び越す ・ゴム跳び		(知) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようすることができる。	グループ 学級 個別	3
2 学期授業時数					15
3 学 期	「サーキット運動 (ボールを使った運動) 2」 (ボールを使った運動やゲーム) ○ストレッチ ・マット ・鉄棒 ・バランスボール ○歩く・走る ・ミニハードル ・ゴールに向かって走る ○跳ぶ (ジャンプ) ・ミニハードルをまたぐ・跳び越す ・ゴム跳び ○はう・くぐる・登る ・蛇腹トンネル ・平均台 ・鉄棒 ・マット ・跳び箱 ○ボール運動 ・投げる ・受ける ・蹴る ・運ぶ ・打つ など		(知) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようすることができる。	グループ 学級 個別	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		自立活動			
目標	学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	○健康の保持 (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5) 健康状態の維持・改善に関すること。 ○心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること。 (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。 ○人間関係の形成 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。 (4) 集団への参加の基礎に関すること。 ○環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること。 (2) 感覚や認知の特性への対応に関すること。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること。 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。 ○身体の動き (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。 (3) 日常生活に必要な基本動作に関すること。 (4) 身体の移動能力に関すること。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。 ○コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2) 言語の受容と表出に関すること。 (3) 言語の形成と活用に関すること。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。 6項目27区分から必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて設定した指導内容		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	65
Ⅰ 学期授業時数					65
2 学 期	Ⅰ 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	75
2 学期授業時数					75
3 学 期	Ⅰ 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	35
3 学期授業時数					35
総授業時数					175

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第2学年 重複B類型		総合的な学習の時間			
目標	(知) 社会を取り巻く事象や地域社会、働くことについて、興味・関心をもったり、課題の解決に必要な知識や技能を身に付けたりする。 (思) 自分たちが活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり表現したりする。 (学) 自分で判断し、行動する意識を高めるとともに、他者と協働して課題を解決しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学期	「総合的な学習の時間について知ろう」 ・オリエンテーション		(知) 総合的な学習の時間で行う内容を知ることができる。 (学) 総合的な学習の時間について、期待感をもつことができる。	学級	1
	「地域について調べよう2」【探究的な学習】 ・課題の設定 ・情報の収集 ・整理、分析 ・まとめ、表現		(知) 地域についての事柄や課題に関する探究的な学習を通して、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思) 地域についての課題を見つけ、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学) 地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	学級	6
	「環境について調べよう」【探究的な学習】 ・課題の設定 ・情報の収集 ・整理、分析 ・まとめ、表現		(知) 本や資料、情報機器、体験等を通して、情報を収集する方法を理解することができる。 (思) 目的に応じて収集した情報を、整理・分析し、他者に伝えるようまとめ、表現することができる。 (学) 情報の収集方法について主体的・協働的に取り組むとともに、各媒体の良さを生かしたり、自分に合った媒体を使用したりして、収集した情報を積極的に発信することができる。	学級	2
	「平和について考えよう2」 ・自分の大切なもの		(知) 自分の大切なものに気付いたり、過去に大切なものが一瞬で消えてしまったことがあることを知ったりする。 (思) 自分の大切なものについて考え、友達に伝えたり、大切なものがなくなったときの人々の気持ちを考えたりすることができる。 (学) 戦争の恐ろしさや平和の大切さに気付き、実際の生活に生かそうとすることができる。	学級	4
Ⅰ 学期授業時数					13

2 学 期	「作業所の見学をしよう」【進路学習】 【校外学習】 ・場所や日程、見学時のマナーについて ・体験の練習 ・作業所見学（広島市東部障害者デイセンター） ・見学内容を振り返り、まとめる		（知）働くことについて、興味・関心をもち、社会の一員としての役割を理解する。 （思）働くことの大切さや苦勞が分かるとともに、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 （学）自己の言動や行動が他者に及ぼす影響について理解するとともに、他者と協働して解決しようとする。	グループ 学級	7
	「高等部について知ろう」【進路学習】 ・作業見学、高等部文化祭見学等		（知）高等部について、興味・関心をもち、知ることができる。 （思）高等部について、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 （学）自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めながら、他者と協働して解決しようとする。	学級	2
	「友達について調べよう」【探究的な学習】 ・課題の設定 ・情報の収集 ・整理、分析 ・まとめ、表現		（知）自己の個性を肯定的に捉え、自他のよさや可能性に気づき、協力し合える人間関係を築くことができる。 （思）自分の個性をよく知り、他者の個性を尊重することを通して、他者への思いやりを深めることができる。 （学）自己理解を一層深めるとともに、多様な他者のよさを見付け、共に生きる人間として豊かに成長しようとすることができる。	学級	6
2 学期授業時数					15
3 学 期	「働く人について調べよう」【進路学習】 ・調べる店や作業所、人、日程について知る。 ・内容や役割を決め、練習 ・タブレット等を使って調べる ・地域で働く人にインタビュー ・インタビュー内容を振り返り、新聞等にまとめる。 ・まとめ、発表を行う。		（知）働くことについて、興味・関心をもち、社会の一員としての役割を理解する。 （思）働くことの大切さや苦勞が分かるとともに、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 （学）自己の言動や行動が他者に及ぼす影響について理解するとともに、他者と協働して解決しようとする。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35